

レジメン名称: DLd(Dara 皮下注)(ダラキューロ+レブラミド+デキサメタゾン) q4w 多発性骨髄腫

ID 患者氏名 様 (性別)

身長 cm 体重 kg 年齢 歳 体表面積 m²

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日	1 コース 4 週間		
		1～2 コース目	3～6 コース目	7 コース目～	
		Day 1・8・15・22・29	Day 1・8・15・22・29	Day 1・8・15・22・29	
ダラキューロ (皮下注)	1800mg/body	↓ ↓ ↓ ↓ (毎週)	↓ ↓ (2 週毎)	↓ (4 週毎)	
レブラミド (内服)	25mg/body	↓……………↓ (3 週内服、1 週休み)	↓……………↓ 3 週内服、1 週休み	↓……………↓ 3 週内服、1 週休み	
デキサメタゾン	40mg/ body/週 (下記参照)	↓↓ ↓↓ ↓↓ ↓↓ ダラキューロがある週：ダラキューロ投与日とその翌日 20mg (内服) 〃 ない週：40mg (内服)	↓↓ ↓ ↓↓ ↓	↓↓ ↓ ↓ ↓	

75 歳を超える又は過少体重（BMI 18.5kg/m²未満）の患者ではデキサメタゾンを 20mg/週で投与することも可。その際はダラキユーロ投与前に 20mg を投与。

レジメンオーダ以外に必要な処方

ダラキューロ投与日：デキサメタゾン 20mg（内服）、レスタミン（10）5 錠、カロナール（200）5 錠、モンテルカスト（10）1 錠

ダラキューロ投与 1～3 時間前に内服

レブラミド 1×朝食後 day1～21 21日分 (Ccr 60 を超えるとき 25mg、30-60 のとき 10mg)

デキサメタゾン（内服） 上記以外に

1～2 コース目 day 2, 9, 16, 23 20mg(内服、ダラキューロ投与翌日)

3～6 コース目 day 2,16, 20mg(内服、ダラキューロ投与翌日)、day 8,22, 40mg(内服、ダラキューロのない週)

7 コース目～ day 2 20mg(内服、ダラキューロ投与翌日)、day 8,15, 22 40mg(内服、ダラキューロのない週)

抗凝固薬（レブラミド血栓予防、アスピリン 100mg など）

必要時：アシクロビル、フェブrik、ダイフェン

注意事項

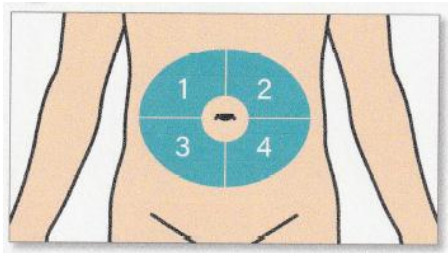
ドラキューロ：インフュージョンリアクション（気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど）に注意。

クームス試験に影響を与えるため、ダラキューロの投与をすることを検査科へ連絡してください。

ダラキューロのインフュージョンリアクションの発現中央値は約 4 時間のため、皮下投与終了後 3～4 時間は症状発現に注意すること

シリンジに分取後、4 時間以内に使用すること。

(次ページあり)



皮下注部位はローテートすること

ダラキューロ投与部位の例

臍から左または右に約 7.5cm 離れた腹部皮下に投与する

ダラキューロ投与方法	
1	デキサメタゾン 20mg、レスタミン (10) 5 錠、カロナール (200) 5 錠、モンテルカスト (10) 1 錠 内服
2	1～3 時間空ける
3	<u>ダラキューロ 1800 mg/15mL</u> 、皮下注 約 3～5 分かけて投与

出水総合医療センター レジメン管理委員会